

世界報道写真展

2004

WORLD PRESS PHOTO

6月8日(火)-8月1日(日)

月曜休館(休館日が祝日または振替休日の場合、その翌日。7月20日は開館)
10:00~18:00(木・金は20:00まで)
入館は開館時間の30分前まで

東京都写真美術館
3階展示室

東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
JR恵比寿駅東口より徒歩7分 Tel 03-3280-0099
http://www.syabi.com



主催 朝日新聞社 世界報道写真財団
共催 東京都写真美術館
後援 オランダ大使館 社団法人日本写真協会 社団法人日本写真家協会
協賛 キヤノン株式会社 キヤノン販売株式会社 TNT
観覧料 一般 700円(560円) 学生 600円(480円)
中・高生 400円(320円) ()内は20名以上の団体料金
小学生以下と障害をお持ちの方とその介護者(2名まで)は無料
65歳以上は第3水曜日より無料 ※観覧できるものはご来館頂く場合がございます
お問い合わせ 朝日新聞社文化事業部「世界報道写真展」係 Tel 03-5540-7450

【世界報道写真大賞】ジャンマルク・ブジュ(フランス) AP通信 ナジャフ近郊の戦争捕虜収容所で4歳の息子を抱きしめるイラク人男性(2003年3月31日)



世界報道写真展 2004

今、この瞬間も地球上では紛争が続いています。
多くの命が犠牲となる中、戦いつづける軍隊やテロリスト...そこには同時に、多大な危険を冒しても、最前線の映像を記録しようとするカメラマン達の姿があります。アメリカの民間団体が発表した数字によると、昨年仕事絡みで殺害されたカメラマンを含むジャーナリストは36人、そのうち13人がイラク戦争で命を落しました。彼らが伝えようとしたものは何なのか。昨年1年間に起こった事件や災害、さらにはスポーツや芸術の現場を切り取った約200点の作品を通して、世界中の報道カメラマンのメッセージが会場に甦ります。



【一般ニュース部門】単写真部門
ジェリー・ランペン(オランダ) ロイター
夫の死を悲しむ女性、ガザ地区で



【スポーツ・フィーチャー部門】単写真部門
グラジミル・ワトキン(ロシア) ノーボスチ通信
シンクロナイズド・スイミング・スクール、モスクワ

【自然部門】単写真部門
マーク・サレスキ(アメリカ) プレス・エンタープライズ
森林火災と戦うヘリコプター、カリフォルニア



【スポーツ・フィーチャー部門】組み写真部門
ヨナス・リンドクヴィスト(スウェーデン)
ダーゲンス・ニヘテル
ボビビル選手、アントニー・カドルイ



【一般ニュース部門】組み写真部門
ユーリー・コズレフ(ロシア) タイム誌
イラク



【アート&エンターテインメント部門】組み写真部門
メアリー・エレン・マーク(アメリカ)
「双子の日」の参加者、オハイオ州ツイズバーク



【ニュースの中の人物部門】単写真部門
キャロライン・コール(アメリカ) ロサンゼルス・タイムズ
集団暴行、リベリア



【自然部門】組み写真部門
ポール・ニコレン(カナダ) ナショナル・ジオグラフィック誌
アトランティック・サーモン

WORLD PRESS PHOTO